

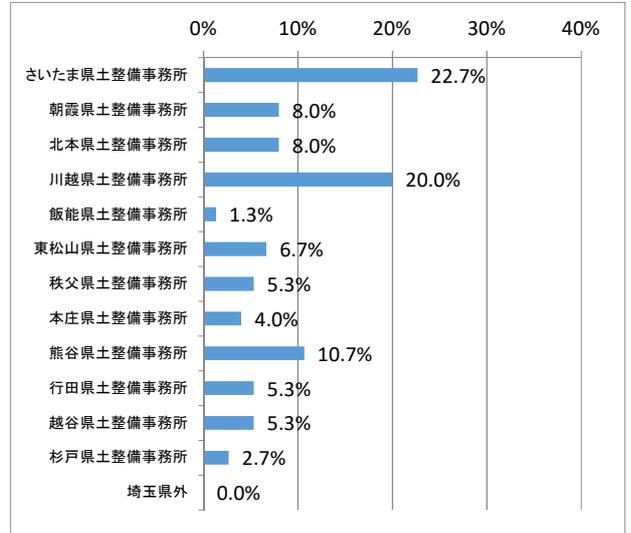
令和4年度 埼玉県総合評価方式【工事】に係る入札参加者アンケート

※回答内容の末尾の〇数字は同じ内容の回答数です。

参加状況について

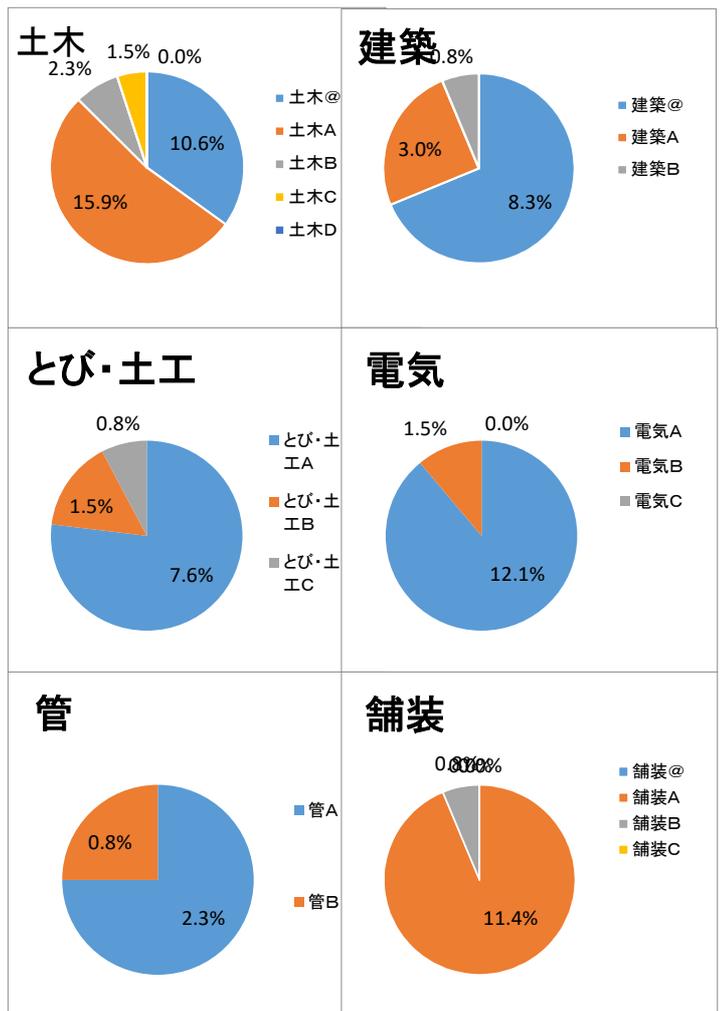
設問1 本店(または主たる営業所)の所在地は何処の管内にありますか。

	回答数	割合
さいたま県土整備事務所	17	22.7%
朝霞県土整備事務所	6	8.0%
北本県土整備事務所	6	8.0%
川越県土整備事務所	15	20.0%
飯能県土整備事務所	1	1.3%
東松山県土整備事務所	5	6.7%
秩父県土整備事務所	4	5.3%
本庄県土整備事務所	3	4.0%
熊谷県土整備事務所	8	10.7%
行田県土整備事務所	4	5.3%
越谷県土整備事務所	4	5.3%
杉戸県土整備事務所	2	2.7%
埼玉県外	0	0.0%
合 計	75	100.0%

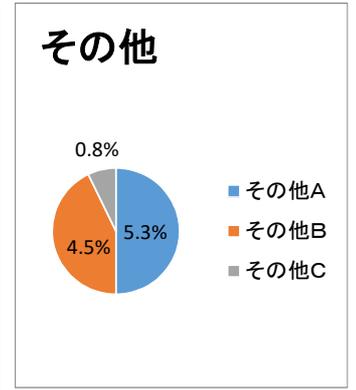
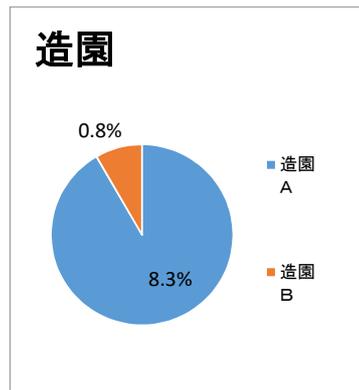


設問2 貴社の主たる入札参加の「業種」とその業種の「格付」は何ですか。

	回答数	割合
土木@	14	10.6%
土木A	21	15.9%
土木B	3	2.3%
土木C	2	1.5%
土木D	0	0.0%
土木 小計	40	30.3%
建築@	11	8.3%
建築A	4	3.0%
建築B	1	0.8%
建築 小計	16	12.1%
とび・土工A	10	7.6%
とび・土工B	2	1.5%
とび・土工C	1	0.8%
とび・土工 小計	10	7.6%
電気A	16	12.1%
電気B	2	1.5%
電気C	0	0.0%
電気 小計	18	13.6%
管A	3	2.3%
管B	1	0.8%
管 小計	4	3.0%
舗装@	0	0.0%
舗装A	15	11.4%
舗装B	1	0.8%
舗装C	0	0.0%
舗装 小計	16	12.1%
機械器具設置A	0	0.0%
機械器具設置 小計	0	0.0%

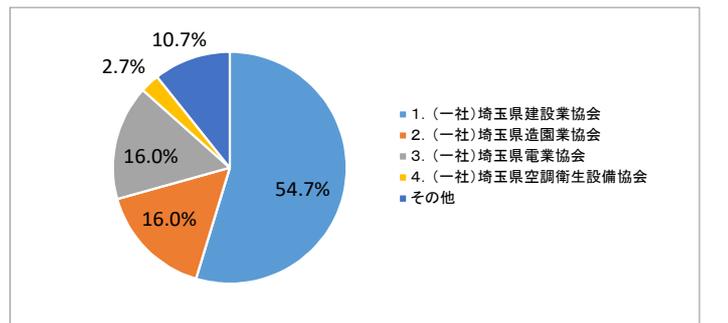


造園A	11	8.3%
造園B	1	0.8%
造園 小計	12	9.1%
解体A	2	1.5%
解体 小計	2	1.5%
その他A	7	5.3%
その他B	6	4.5%
その他C	1	0.8%
その他 小計	14	10.6%
合計	132	100.0%



設問4 所属する協会があればご回答ください。(複数回答可)

	回答数	割合
1. (一社)埼玉県建設業協会	41	54.7%
2. (一社)埼玉県造園業協会	12	16.0%
3. (一社)埼玉県電業協会	12	16.0%
4. (一社)埼玉県空調衛生設備協会	2	2.7%
その他	8	10.7%
合計	75	100.0%



【その他回答】

(一社)日本塗装工業会 ③

埼玉県電気工事工業組合 ②

埼玉県塗装業協同組合

埼玉県電気工事工業組合 情報通信設備協会 消防設備協会

日本樹木医会埼玉県支部

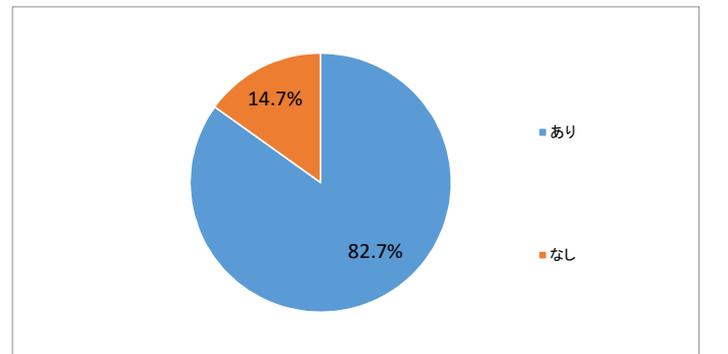
川口電気設備協同組合

埼玉県土木技士会

日造協

設問5 これまでの埼玉県が発注した総合評価方式の入札への応札実績をお伺いします。(過去〇年度間等は問いません)

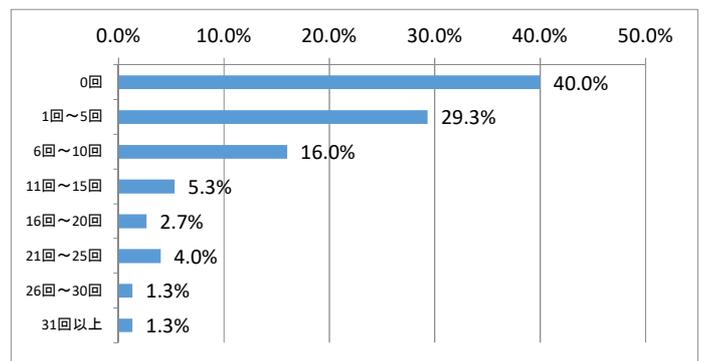
	回答	割合
あり	62	82.7%
なし	11	14.7%
	73	97.3%



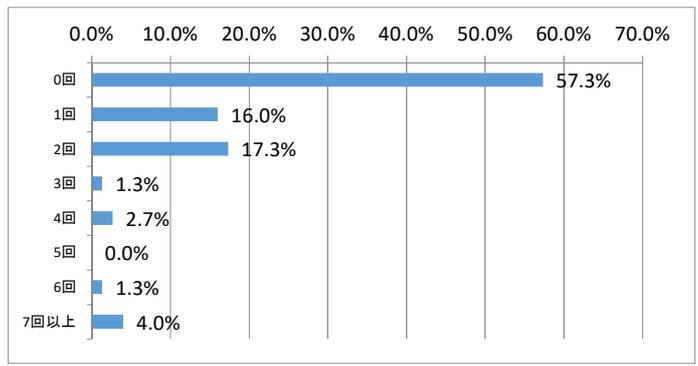
設問6 今年度(令和4年4月1日から記入日現在まで)の埼玉県が発注した総合評価方式の入札への応札件数・受注件数をお伺いします。

※参加していない場合は応札件数・受注件数共に「0」とご記入ください。

応札件数	回答	割合
0回	30	40.0%
1回~5回	22	29.3%
6回~10回	12	16.0%
11回~15回	4	5.3%
16回~20回	2	2.7%
21回~25回	3	4.0%
26回~30回	1	1.3%
31回以上	1	1.3%
合計	75	100.0%



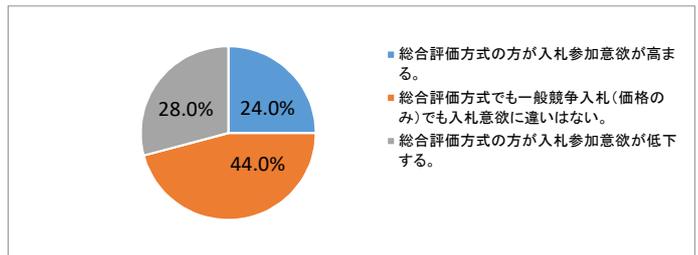
受注件数	回答	割合
0回	43	57.3%
1回	12	16.0%
2回	13	17.3%
3回	1	1.3%
4回	2	2.7%
5回	0	0.0%
6回	1	1.3%
7回以上	3	4.0%
合計	75	100.0%



総合評価方式での入札参加について

設問7 貴社にとって、総合評価方式と一般競争入札(価格のみ)を比べた場合、入札意欲に違いがありますか。

	回答	割合
総合評価方式の方が入札参加意欲が高まる。	18	24.0%
総合評価方式でも一般競争入札(価格のみ)でも入札意欲に違いはない。	33	44.0%
総合評価方式の方が入札参加意欲が低下する。	21	28.0%
合計	72	96.0%



【①の理由】

自社の加点項目が、評価されるため ⑥

普段から工事成績点アップ等に向けて努力しているため ④

評価項目に対して対応し、公共工事の理解をしてもらいより良い物造るため

価格競争のみではなく、企業力や予定する監理技術者などの加算があり、総合評価を基に様々な事柄にチャレンジできるため

採点により会社の評価が決まるため落札率も高くなり、工事価格もある程度は調整できるため

過去の実績を評価してもらえるため

施工体制及び施工技術で満足いただく事が業務の特性上、必要と考えるため

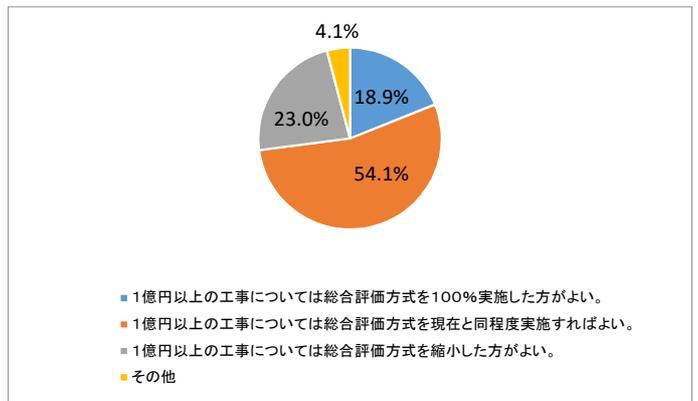
くじ引きがなくなり、努力が報われる可能性が高くなるため

【③の理由】

回答なし

設問8 令和3年度埼玉県発注工事で設計額(税込み)1億円以上の工事のうち約5割で総合評価方式を実施している状況ですが、このことについてどう考えますか。

	回答	割合
1億円以上の工事については総合評価方式を100%実施した方がよい。	14	18.9%
1億円以上の工事については総合評価方式を現在と同程度実施すればよい。	40	54.1%
1億円以上の工事については総合評価方式を縮小した方がよい。	17	23.0%
その他	3	4.1%
合計	74	100.0%



【その他回答】

具体的な判断が困難であり価格競争のみの方が良い

Aクラス以下が参加できる案件で、@の業者と競合になった場合は、Aクラス以下が不利になる

参加したことがないので分からない

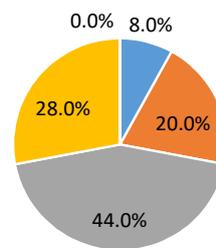
設問9 令和3年度埼玉県発注工事で設計額(税込み)1千万円以上1億円未満の工事のうち約2割で総合評価方式を実施している状況ですが、このことについてどう考えますか。

	回答	割合
1億円未満の工事については総合評価方式を100%実施した方がよい。	6	8.0%
1億円未満の工事については総合評価方式を拡大した方がよい。	15	20.0%
1億円未満の工事については総合評価方式を現在と同程度実施すればよい。	33	44.0%
1億円未満の工事については総合評価方式を縮小した方がよい。	21	28.0%
その他	0	0.0%
合計	75	100.0%

【その他回答】

具体的な判断が困難であり価格のみの方が良い

5千万円以上の工事に対して総合評価方式が望ましい

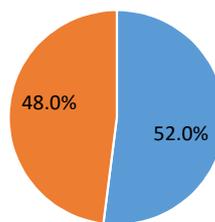


- 1億円未満の工事については総合評価方式を100%実施した方がよい。
- 1億円未満の工事については総合評価方式を拡大した方がよい。
- 1億円未満の工事については総合評価方式を現在と同程度実施すればよい。
- 1億円未満の工事については総合評価方式を縮小した方がよい。
- その他

総合評価方式について

設問10 現在の総合評価方式について改善が必要と思われる点や要望がありますか。

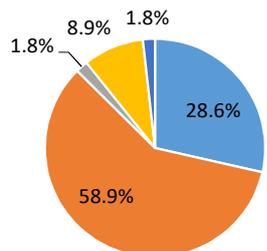
	回答	割合
改善点、要望等がある。	39	52.0%
改善点、要望等はない。	36	48.0%
合計	75	100.0%



- 改善点、要望等がある。
- 改善点、要望等はない。

設問11 改善が必要と思われる、又は要望があるのはどのような点ですか。(複数回答可)

	回答	割合
制度全般	16	28.6%
評価項目	33	58.9%
様式	1	1.8%
技術資料作成の手引き、入札説明書	5	8.9%
その他	1	1.8%
合計	56	100.0%



- 制度全般
- 評価項目
- 様式
- 技術資料作成の手引き、入札説明書
- その他

設問12 具体的に改善が必要と思われる点、要望等がございましたらご記入ください。

災害出動実績の対象拡大 ②

件数を増やしてほしい

評価点数がある会社が低入札で確実に受注ができてしまう仕組みは改めてほしい

インターンシップ等はコロナの影響で実施できなかったので評価対象から外してほしい

手持ち工事評価や災害活動防止認定について、評価方法が不明確

「災害協力協定」や「成績」について対象範囲の拡大

技術提案型は新築のみにしてほしい

地理的有利さをもっと細かくしてほしい(例:市内工事については、市内本店 5点 など)

難工事実績の配点を下げてほしい

政令指定都市の実績も評価の対象としてほしい

工事表彰を受けた企業が圧倒的に有利であり、表彰を受けていないと受注できない

剪定などの委託業務でも総合評価方式を採用して欲しい

災害復旧工事契約実績は地域差が生じるため項目から外してほしい

大規模工事に関して地域点を外してほしい

施工実績の地域間のばらつきを排除してほしい

企業の努力が報われる評価をして欲しい

落札決定までに時間がかかる

配置予定技術者についての評価項目及び配点が少ないので増やしてほしい

各評価項目ごとに差がつくような加点条件にしてほしい

過度な低入札は、国に準じた方式をとってほしい

優秀技術者表彰の加点について、優秀施工者表彰を受けた技術者も加点対象としてほしい

工事成績と実績を両方とも評価してほしい

優秀施工者表彰を受賞した工事に従事した監理技術者及び主任技術者の功績も評価の対象としてほしい

災害防止活動の実績を2年度でなく数年度にして欲しい

県内下請けの選定において、全てを自社施工するのは困難なので部分施工でも評価してほしい

地理的条件の評価点を高くしてほしい

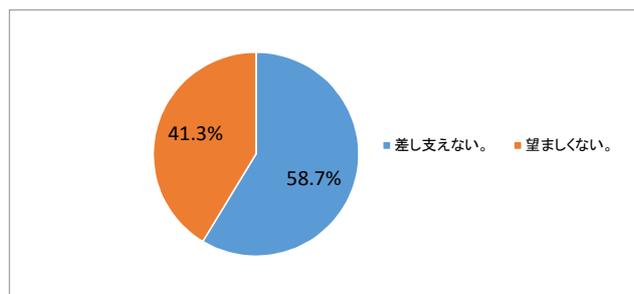
下水道局案件の地理的条件について、単独汚水処理施設を保有する自治体に本店を有する企業が評価対象にならないため評価基準を変更してほしい

Aランクの会社に新製品の開発は困難

雇用している技能者がいない為、登録基幹技能者が配置出来ない。下請でも可能にほしい

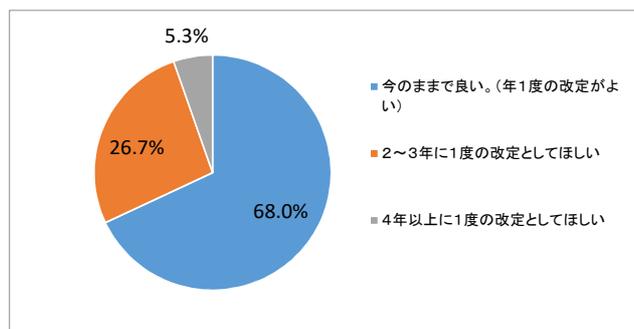
設問13 くじきで落札者が決定することをどのように考えていますか。

	回答	割合
差し支えない。	44	58.7%
望ましくない。	31	41.3%
合計	75	100.0%



設問14 改定頻度について伺います。

	回答	割合
今のままで良い。(年1度の改定がよい)	51	68.0%
2～3年に1度の改定としてほしい	20	26.7%
4年以上に1度の改定としてほしい	4	5.3%
合計	75	100.0%

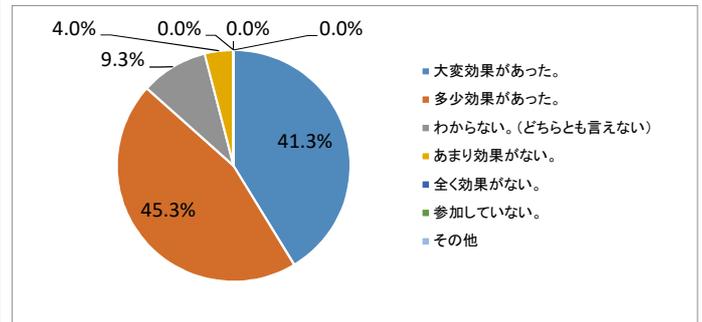


自己採点方式の実施状況について

工事では技術提案型を対象に、開札前に提出いただいていた技術資料の一部を自己採点申請書に置き換える「自己採点併用方式」を令和2年度から導入しています。このことについて御意見を伺います。

設問15 『自己採点方式』は事務負担の軽減に効果がありましたか。

	回答	割合
大変効果があった。	31	41.3%
多少効果があった。	34	45.3%
わからない。(どちらとも言えない)	7	9.3%
あまり効果がない。	3	4.0%
全く効果がない。	0	0.0%
参加していない。	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	75	100.0%



【その他回答】

落札候補者になってから書類提出までの期間が短い。あらかじめ準備しておかなければならない点は効果を感じられない
参加したことがない

設問16 『自己採点方式』について改善点があればご指摘ください。

質問の回答期限から電子データの提出までの期間が短いと感じる。期間を長めに確保してほしい ②

正確な自己採点をするには、落札時の資料と同等の準備が必要

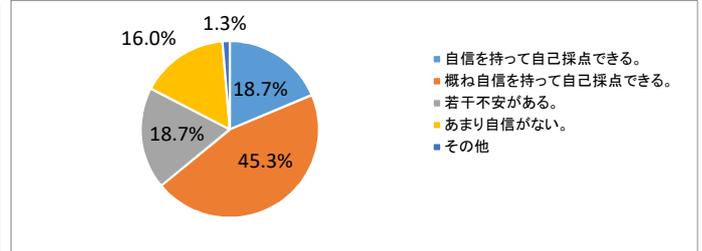
自己採点を基に総合点数が出て、相違があると取り消しになる点が、極端すぎる

自己採点方式でも「1/3失格基準」の採用を希望

提出書類の重複の解消

設問17 (併用方式を含めた)自己採点申請書に記載する「自己採点」について、どのように感じていますか。

	回答	割合
自信を持って自己採点できる。	14	18.7%
概ね自信を持って自己採点できる。	34	45.3%
若干不安がある。	14	18.7%
あまり自信がない。	12	16.0%
その他	1	1.3%
合計	75	100.0%

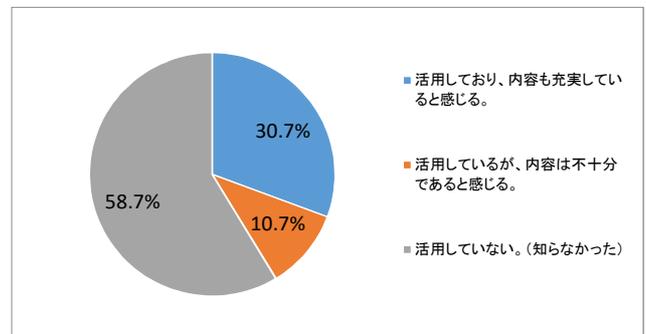


【その他回答】

自己採点実績なし

設問18 自己採点間違い等の情報提供を昨年度末から試行しています。このことについて意見を伺います。

	回答	割合
活用しており、内容も充実していると感じる。	23	30.7%
活用しているが、内容は不十分であると感じる。	8	10.7%
活用していない。(知らなかった)	44	58.7%
合計	75	100.0%



設問19 成績評定については、加点する点数を区切って段階的に評価しています。

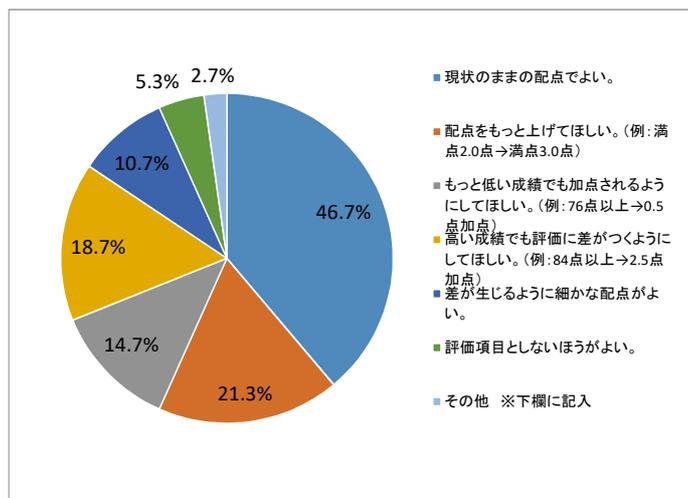
近年、工事成績評定は高得点化しており、品質確保の観点からは望ましいことであると考えていますが、各社の評価に差がつきづらい状況になっています。このことを踏まえて、配点方法についてお聞きします。(複数回答可)

	回答	割合
現状のままの配点でよい。	35	46.7%
配点をもっと上げてほしい。(例:満点2.0点→満点3.0点)	16	21.3%
もっと低い成績でも加点されるようにしてほしい。(例:76点以上→0.5点加点)	11	14.7%
高い成績でも評価に差がつくようにしてほしい。(例:84点以上→2.5点加点)	14	18.7%
差が生じるように細かな配点が良い。	8	10.7%
評価項目としないほうがよい。	4	5.3%
その他 ※下欄に記入	2	2.7%
合計	90	120.0%

【その他回答】

事例が少ないので判断しかねる

比較的小さい工事の時は加点項目が少なく、どうしても低い点になってしまうのが残念

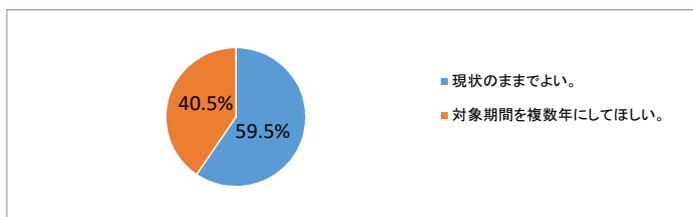


難工事実績について

平成27年度から難工事完了実績の評価項目については、件数に応じて3点までの件数による加点評価としています。このことについてお伺いします。

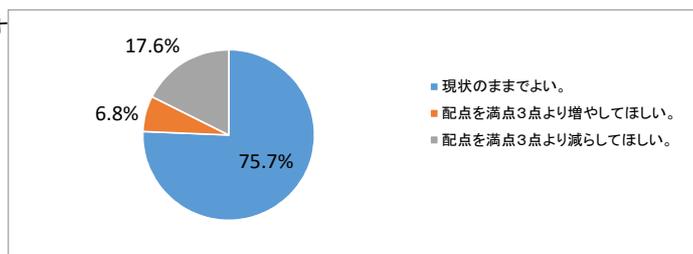
設問20 対象期間が1年間であることについて伺います。

	回答	割合
現状のままでよい。	44	59.5%
対象期間を複数年にしてほしい。	30	40.5%
合計	74	100.0%



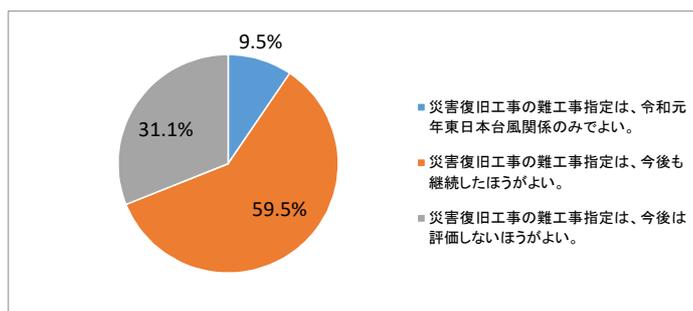
設問21 件数に応じて3点まで加点評価としていることについて、お伺いします

	回答	割合
現状のままでよい。	56	75.7%
配点を満点3点より増やしてほしい。	5	6.8%
配点を満点3点より減らしてほしい。	13	17.6%
合計	74	100.0%



設問22 県土整備部においては、令和元年東日本台風(台風第19号)に係る災害復旧工事(随意契約する工事を除く。)について、原則、難工事指定として発注し、災害復旧工事を難工事として加点評価としています。このことについてお伺いします。

	回答	割合
災害復旧工事の難工事指定は、令和元年東日本台風関係のみでよい。	7	9.5%
災害復旧工事の難工事指定は、今後も継続したほうがよい。	44	59.5%
災害復旧工事の難工事指定は、今後は評価しないほうがよい。	23	31.1%
合計	74	100.0%



設問23 難工事完了実績について何か御意見がございましたら記入してください。

- 難工事の定義が不明瞭 ⑥
- 直接電気工事などでの評価はないので、現状のままでよい ③
- 対象期間の延長 ③
- 対象部局の拡大 ②
- 地域により入札参加可能な発注件数が違うため、不公平感がある ②
- 建築部門でも内容によって難工事指定してほしい
- 難工事は、利益を除外し難易度がある現場を施工している。必須項目にしてほしい
- 難工事の評価に工事成績評定(80点以上)等の条件を加えて質を上げるべき

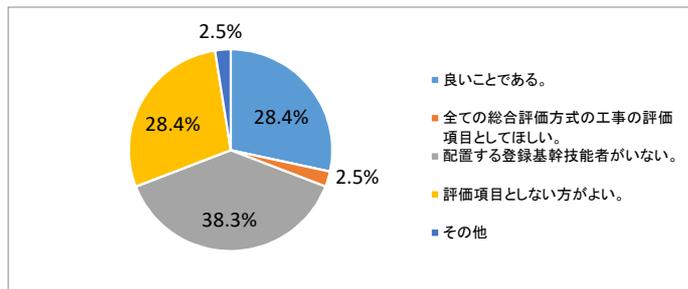
設問24 優秀工事表彰について、何か御意見があれば、自由に記述してください。

- 表彰の基準が不明確 ④
- 件数の増加 ③
- 優秀工事表彰を受賞した工事の技術者は、優秀技術者表彰の項目でも加点対象としてほしい ②
- 優秀代理人表彰も優秀工事表彰に加えてほしい
- 建築工事の表彰件数、造園工事の表彰件数を増やしてほしい
- 加点を+0.5点にしてほしい
- 知事表彰と事務所表彰に差をつけてほしい
- 施工条件、技術、工期、対外折衝など困難を要した工事についても選考される制度にしてほしい
- 優秀工事としての表彰は光栄なことであり、また励みともなりますのでとても有難い

登録基幹技能者の配置について

設問25 平成30年度から「登録基幹技能者の配置」を新規評価項目としました。このことについて伺います。

	回答	割合
良いことである。	23	28.4%
全ての総合評価方式の工事の評価項目としてほしい	2	2.5%
配置する登録基幹技能者がいない。	31	38.3%
評価項目としない方がよい。	23	28.4%
その他	2	2.5%
合計	81	100.0%



【その他回答】

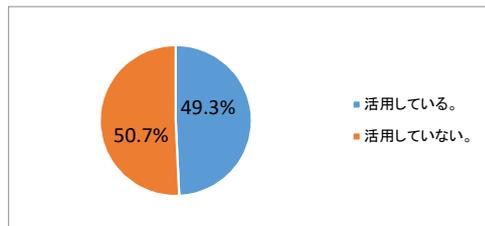
- 配点を大きくしてほしい
- 落札決定までの期間、下請業者の登録基幹技能者を確保しておくことが困難
- 中小企業が参加するような工事には必要ない

継続教育(CPD)制度について

設問26 貴社では、継続教育(CPD)制度を活用していますか。

※「社員に年間取得単位を義務づけている」、「社内での昇進・昇給・異動時の資料として活用している」「ISO9001の規格要求事項に対する記録として活用している」など

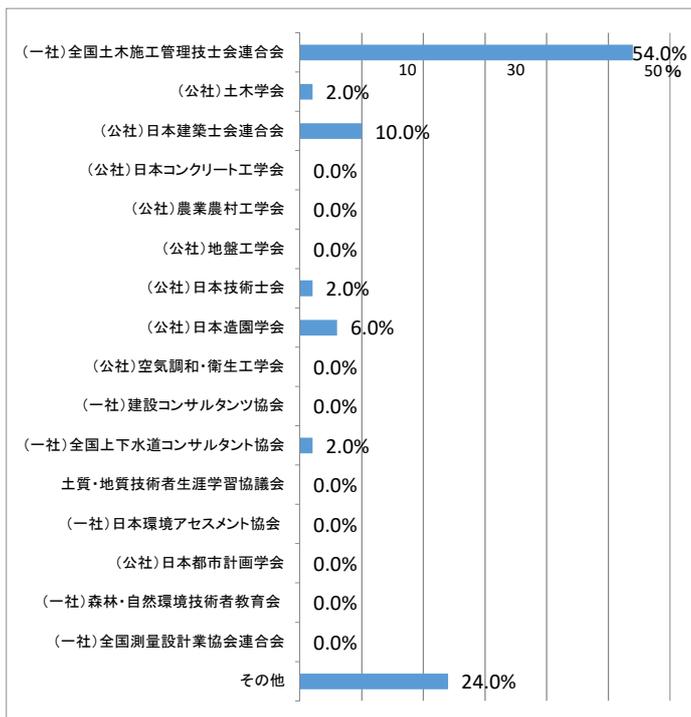
	回答	割合
活用している。	36	49.3%
活用していない。	37	50.7%
合計	73	100.0%



設問27 貴社でCPD制度を活用している方は、どのような団体の制度を活用していますか。

【複数回答可】

	回答	割合
(一社)全国土木施工管理技士会連合会	27	54.0%
(公社)土木学会	1	2.0%
(公社)日本建築士会連合会	5	10.0%
(公社)日本コンクリート工学会	0	0.0%
(公社)農業農村工学会	0	0.0%
(公社)地盤工学会	0	0.0%
(公社)日本技術士会	1	2.0%
(公社)日本造園学会	3	6.0%
(公社)空調調和・衛生工学会	0	0.0%
(一社)建設コンサルタンツ協会	0	0.0%
(一社)全国上下水道コンサルタント協会	1	2.0%
土質・地質技術者生涯学習協議会	0	0.0%
(一社)日本環境アセスメント協会	0	0.0%
(公社)日本都市計画学会	0	0.0%
(一社)森林・自然環境技術者教育会	0	0.0%
(一社)全国測量設計業協会連合会	0	0.0%
その他	12	24.0%
合計	50	100.0%



【その他回答】

一般財団法人建設業振興基金 ⑦

建築・設備施工管理CPD

(一財)日本緑化センター

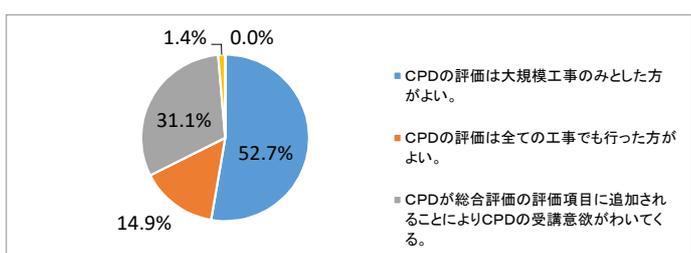
埼玉県建設業協会

建設業労働災害防止協会

電業協会

設問28 平成28年度から、大規模工事の一部において総合評価方式の評価項目に継続教育(CPD)の取組状況を導入しましたが、今後のCPD評価について、どのようにお考えですか。(現在は土木I型及び特定課題対策パッケージ「施策チャレンジ型」の必須評価項目、技術提案型及び簡易型の評価項目選択型の選択評価項目です。)【複数回答可】

	回答	割合
CPDの評価は大規模工事のみとした方がよい。	39	52.7%
CPDの評価は全ての工事でも行った方がよい。	11	14.9%
CPDが総合評価の評価項目に追加されることによりCPDの受講意欲がわいてくる。	23	31.1%
CPDの評価はしなくてよい。	1	1.4%
その他	0	0.0%
合計	74	100.0%



【その他回答】

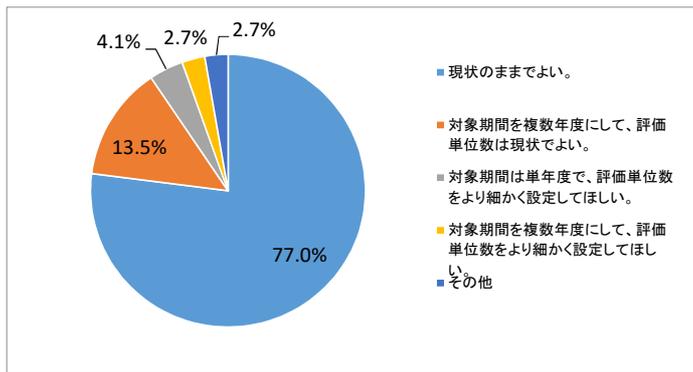
現在の講習会はレベルが低く受講させたい講習は年間で数えるほど。活用前に講習会の充実が急務。年20時間も意味のない講習を受講させるのは辛い
中小規模の工事で採用するのであれば各団体が推奨する単位を現在の1/4以下に下げて加点してほしい

設問29 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講習会が開催されていない状況を踏まえ、令和2年度は暫定的な対応(1年度間→3年度間)を行いました。評価の仕方についてお伺いします。

	回答	割合
現状のままでよい。	57	77.0%
対象期間を複数年度にして、評価単位数は現状でよい。	10	13.5%
対象期間は単年度で、評価単位数をより細かく設定してほしい。	3	4.1%
対象期間を複数年度にして、評価単位数をより細かく設定してほしい。	2	2.7%
その他	2	2.7%
合計	74	100.0%

【その他回答】

なし



設問30 継続教育(CPD)の取組状況を総合評価方式で評価することについて御意見や御要望等がありましたら、御記入ください。【自由記述】

職員の技術向上につながる ②

CPD対象の講習が少なく、評価単位をとりにくい。対象外にしてほしい ②

大手の会社が有利となると感じている

人員が不足しているため取組が難しい

年度評価ではなく、国に準じた申請時点から過去1年分の評価にしてほしい

引き続き、評価対象年度を複数年度としてほしい

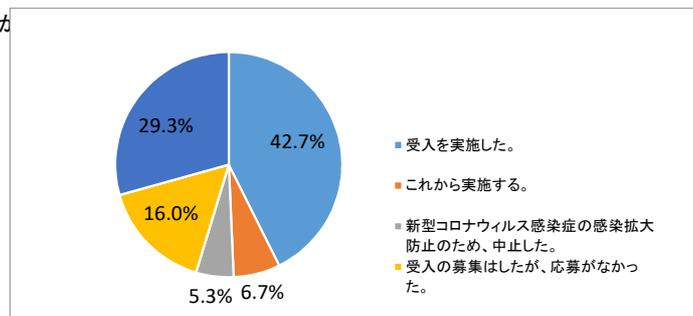
単位を取得することだけが目的となり、継続学習としての意味合いが薄れている。評価をきつくし過ぎることによる弊害を懸念

インターンシップ受入実績について

平成27年度からインターンシップ受入実績の評価を行っています。また、平成30年度からは独立した評価項目となりました。インターンシップ受入実績の実態についてお伺いします。

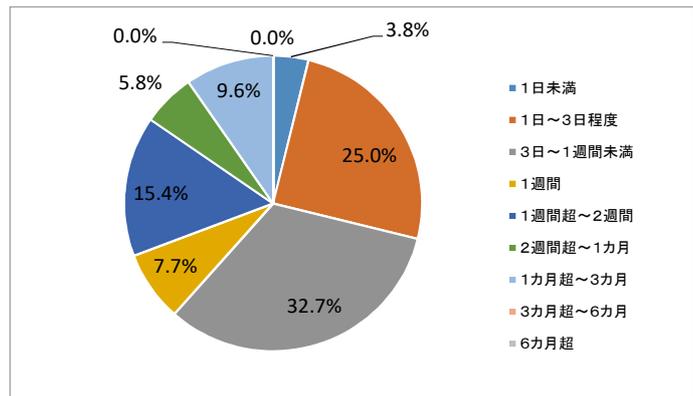
設問31 令和3年度及び令和4年度にインターンシップの受入を実施しましたが

	回答	割合
受入を実施した。	32	42.7%
これから実施する。	5	6.7%
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した。	4	5.3%
受入の募集はしたが、応募がなかった。	12	16.0%
募集や受入をしていない。	22	29.3%
合計	75	100.0%



設問32 学生1人あたりの平均的な受入期間を教えてください。

	回答	割合
1日未満	2	3.8%
1日～3日程度	13	25.0%
3日～1週間未満	17	32.7%
1週間	4	7.7%
1週間超～2週間	8	15.4%
2週間超～1カ月	3	5.8%
1カ月超～3カ月	5	9.6%
3カ月超～6カ月	0	0.0%
6カ月超	0	0.0%
合計	52	100.0%



設問33 インターンシップ受入について、総合評価で加点以外のメリットがあればご記入ください。

受入後に就職に繋がる ⑬

業界に興味を持ってもらえる ⑧

受入れが公平にできないのでメリットにはならない

学生、学校との情報共有ができる。企業、学生ともに入社試験・面接だけよりも選考時の検討に役立っていると思う

職場の雰囲気や企業の実状が認識できるため、就職後の離職率が減少する

各社が必要に応じて実施するべきもので、総合評価の加点項目として競争させる項目とするものではない

就職するにあたり企業に求めること等を直接聞ける

設問34 インターンシップ受入について何か御意見がございましたら記入してください。

評価項目から外してほしい ④

職業観の醸成、社内の活性化

過去3年度間を続けてほしい

感染症の影響により一時は学生が遠のいていたが、徐々に取り戻してきている

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止になった

中小企業は何人もの人材を受け入れるキャパシティはない

有効期限をコロナ禍は考慮しなくとも3年から5年に伸ばしてほしい

どの程度の体験をしてもらうかは各社によって異なる

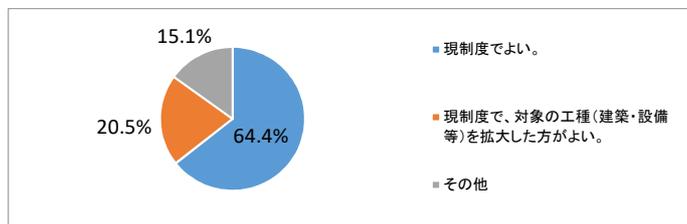
若い人材の担い手不足は顕著である為、今後も力を入れていきたい

令和3年度は応募があったが令和4年度は無かったので、なかなか難しい

災害復旧工事契約実績について(令和2年度新設)

設問35 令和2年度から「企業の社会的貢献度」のひとつとして、県が被災箇所について災害復旧を国に申請し、災害査定が行われ、災害復旧事業費が決定した土木工事について「災害復旧契約実績」として評価(満点1点)することとしました。このことについてお伺いします。※公告日までに対象工事が完成していること

	回答	割合
現制度でよい。	47	64.4%
現制度で、対象の工種(建築・設備等)を拡大した方がよい。	15	20.5%
その他	11	15.1%
合 計	73	100.0%



【その他回答】

地域差があるので評価項目としない方がよい ⑥

土木以外についても評価対象としてほしい

小規模な工事ではなくは受注が不可能

県内の国の災害復旧工事契約実績も評価してほしい

令和元年東日本台風の災害復旧に貢献した実績なので、令和元年度契約の実績は継続して評価してほしい

要件が、負担法等の適用を受けた工事となっているが、非適用工事でも県発注の災害復旧工事であれば同様に評価対象としてほしい

評価点を1点より上げてほしい

評価期間が過去2年度間となっているのを延長してほしい

設問36 県内下請の選定については、「下請負人を県内企業等から1社以上選定する」等の条件により加点対象としています。総合評価方式を採用した工事において、大半が下請負人を県内企業等から1社以上選定しており、各社の評価に差がつかぎづらいう状況になっています。このことを踏まえて、配点方法についてお聞きします。

現状のままの配点でよい。	51	68.0%
下請負人を県内企業等から複数社以上から選定する方がよい。	6	8.0%
下請負人の数ではなく、他の指標とする方がよい。(例:下請金額に占める県内企業の割合等)	1	1.3%
評価項目としないほうがよい。	11	14.7%
その他 ※下欄に記入	6	8.0%
合計	75	100.0%

【その他回答】

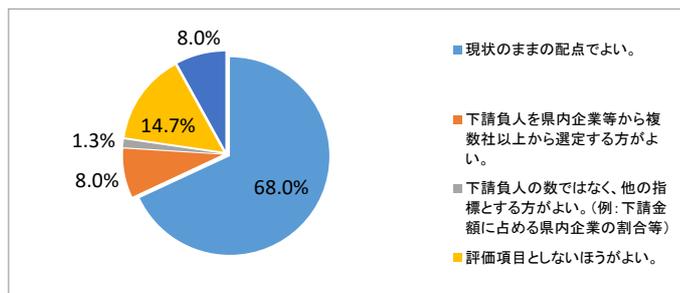
県内下請80%以上程度が望ましい

下請負人金額が50%以上とするほうがよい

下請企業を施工現場の市内の業者を選定するとさらに少し加点となる様にして欲しい

点数の差がつかなくとも県内業者の育成・活性化のためには必要な項目

「すべて自社で施工する」場合により高い加点としてほしい



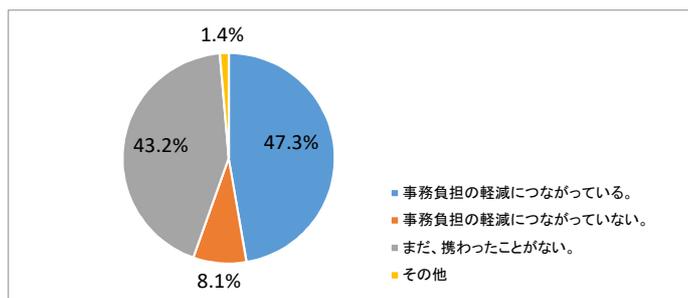
パッケージ型の総合評価について

設問37 平成30年度からの簡易型自己採点方式の総合評価方式で、現在試行中の特定課題対策パッケージ(4タイプ)に加え、標準パッケージ(4タイプ)を用意しました。評価項目をあらかじめパッケージ化することで、1案件ごとに評価項目を確認して入札説明書や技術資料を作成する手間がなくなるので、受発注者双方の事務負担の軽減につながるのではと考えています。このことについてどうお考えですか。

	回答	割合
事務負担の軽減につながっている。	35	47.3%
事務負担の軽減につながっていない。	6	8.1%
まだ、携わったことがない。	32	43.2%
その他	1	1.4%
合計	74	100.0%

【事務負担の軽減につながっている具体例】

なし

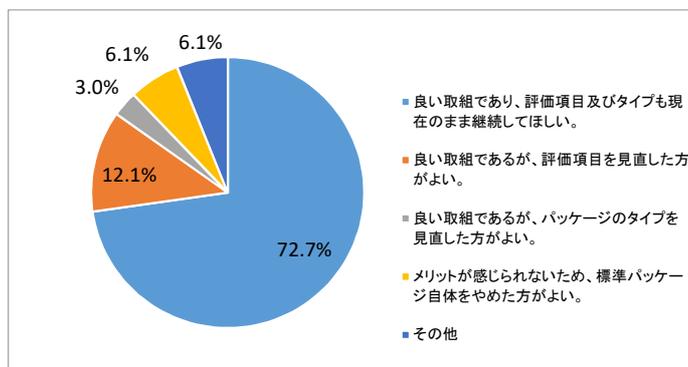


設問38 標準パッケージは、土木Ⅰ型、土木Ⅱ型、建築型、設備型の4タイプあります。評価項目の組み合わせやタイプについてお伺いします。

	回答	割合
良い取組であり、評価項目及びタイプも現在のまま継続してほしい。	48	72.7%
良い取組であるが、評価項目を見直した方がよい。	8	12.1%
良い取組であるが、パッケージのタイプを見直した方がよい。	2	3.0%
メリットが感じられないため、標準パッケージ自体をやめた方がよい。	4	6.1%
その他	4	6.1%
合計	66	100.0%

【その他回答】

良い取り組みではあるが、各評価項目に差をつけるため評価点を上げてほしい



設問39 前の設問の回答について、具体的な内容・理由をお書きください。

この制度のままでよい ③

事案が少ないのでわからない ②

標準パッケージにより事務負担の軽減ができた。今後も継続してほしい

評価項目の組み合わせに名前が付いただけで、組み合わせの中身については、以前から特に変更が見られない

必須評価項目及び選択評価項目での評価について適切であるため

県産品利用等は、そもそも県産品がない製品でも採用される場合があるので必須項目ではなく選択項目が良い

設問が標準化されていることで作成に手間がかからない。間違えが少なくなる

現在のパッケージが定着しているようなので、継続を望む。頻繁に手法を変える事で混乱し、間違いを招く

企業の技術能力は工事成績評定と施工実績のどちらかを選択する配点だが、同時に評価項目とすることがあってもよい

ISO9001(品質)を取得している業者を総合評価にて必須項目として評価すべき

災害防止活動実績、除雪契約、災害復旧工事等の項目は配点を増やしてほしい。

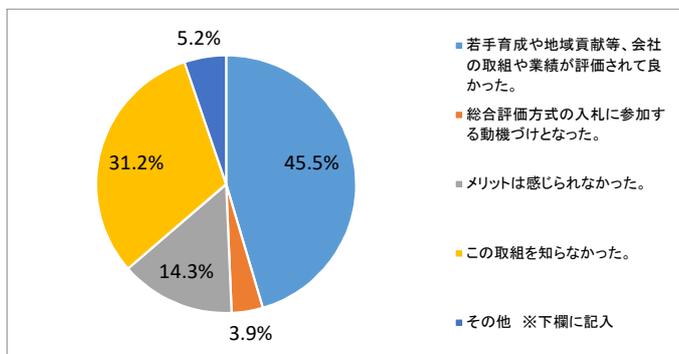
「特定課題対策パッケージ」型の総合評価方式について

設問40 埼玉県県土整備部では、平成28年度から建設業界が抱える特定の課題に対応するため、「特定課題パッケージ」型の総合評価方式を試行しています。このことについてお伺いします。【複数回答可】

	回答	割合
若手育成や地域貢献等、会社の取組や業績が評価されて良かった。	35	45.5%
総合評価方式の入札に参加する動機づけとなった。	3	3.9%
メリットは感じられなかった。	11	14.3%
この取組を知らなかった。	24	31.2%
その他 ※下欄に記入	4	5.2%
合計	77	100.0%

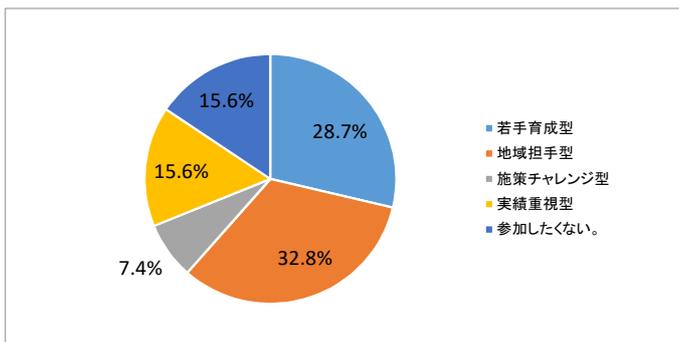
【その他回答】

参加実績がない ③



設問41 「特定課題対策パッケージ」の試行は「若手育成型」「地域担手型」「施策チャレンジ型」「実績重視型」の4タイプで試行しています。どのパッケージで入札参加したいと考えますか。(複数回答可)

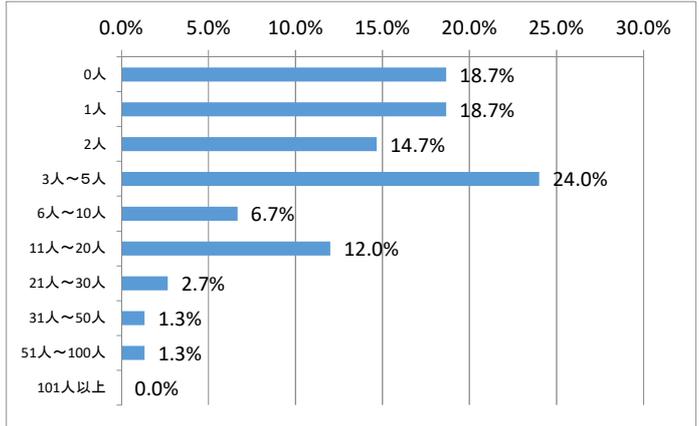
	回答	割合
若手育成型	35	28.7%
地域担手型	40	32.8%
施策チャレンジ型	9	7.4%
実績重視型	19	15.6%
参加したくない。	19	15.6%
合計	122	100.0%



若手技術者の評価について

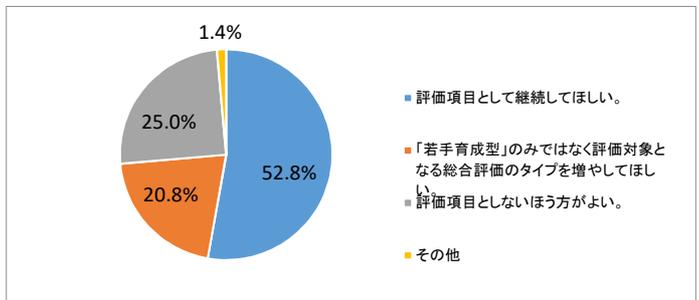
設問42 貴社に若手技術者(R4.4.1時点で35歳未満)は何名いますか。

	回答	割合
0人	14	18.7%
1人	14	18.7%
2人	11	14.7%
3人~5人	18	24.0%
6人~10人	5	6.7%
11人~20人	9	12.0%
21人~30人	2	2.7%
31人~50人	1	1.3%
51人~100人	1	1.3%
101人以上	0	0.0%
合計	75	100.0%



設問43 「特定課題対策パッケージ」の「若手育成型」では、現場代理人又は配置予定技術者として若手技術者(35歳未満)を配置することを評価していますが、このことについてどうお考えですか。

	回答	割合
評価項目として継続してほしい。	38	52.8%
「若手育成型」のみではなく評価対象となる総合評価のタイプを増やしてほしい。	15	20.8%
評価項目としないほうがよい。	18	25.0%
その他	1	1.4%
合計	72	100.0%



【その他回答】

若手技術者がいない。

設問44 その他、若手技術者の配置に係る評価についてお書きください。【自由記述】

女性技術者型も考えて欲しい

項目からの除外を要望

代理人・監理技術者・工事担当者の配置、1級・2級土木施工管理技士の資格保持で配点を変えてほしい

2級の施工管理技術者をもっと活用できるようにしてほしい

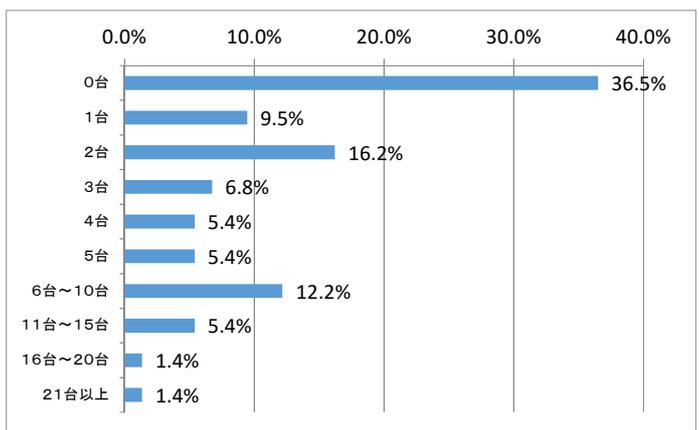
若手がいる地域や会社なら良いが、若手がいらない地域のことも考えてほしい

技術者の要件として経験値のウェイトはとて大きい。経験の少ない若手技術者であるので温かい目で接していただけるとありがたい

重機保有状況について

設問45 貴社では建設機械(経営事項審査の加点対象となるもの)を何台保有していますか。(R4.4.1現在)

	回答	割合
0台	27	36.5%
1台	7	9.5%
2台	12	16.2%
3台	5	6.8%
4台	4	5.4%
5台	4	5.4%
6台~10台	9	12.2%
11台~15台	4	5.4%
16台~20台	1	1.4%
21台以上	1	1.4%
合計	74	100.0%



設問46 平成30年度から「重機保有状況(リース含む)」を新規評価項目としました。このことについてお伺いします。

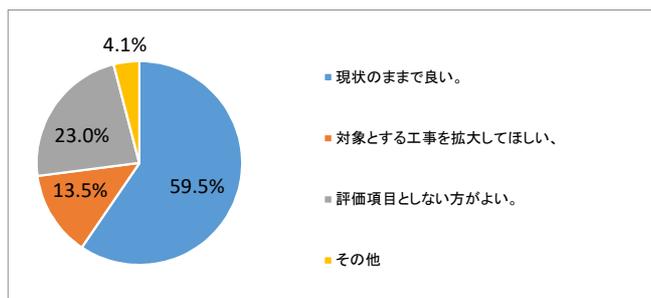
	回答	割合
現状のままで良い。	44	59.5%
対象とする工事を拡大してほしい、	10	13.5%
評価項目としない方がよい。	17	23.0%
その他	3	4.1%
合計	74	100.0%

【その他回答】

電気工事にはあまり関係ない

自社保有とリース保有で差をつけてほしい

あくまで自社保有機のみとし、リースは含まない方がよい



設問47 評価項目の対象となる重機は、①ショベル系掘削機、②ブルドーザー、③トラクターショベル、④モーターグレーダー、⑤移動式クレーン、⑥大型ダンプ車に限定しています。このことについて意見を伺います。

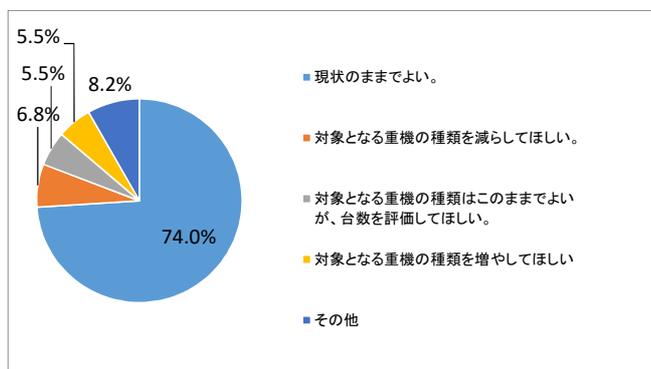
	回答	割合
現状のままでよい。	54	74.0%
対象となる重機の種類を減らしてほしい。	5	6.8%
対象となる重機の種類はそのままよいが、台数を評価してほしい。	4	5.5%
対象となる重機の種類を増やしてほしい	4	5.5%
その他	6	8.2%
合計	73	100.0%

【その他回答】

4t、3t、2tダンプ車 ②

高所作業車

移動式クレーンの中に4tユニック車があってもよい



ICT施工技術の活用について

設問48 埼玉県では、ICT活用工事に設定された工事において、ICT施工技術の活用を評価項目にすることとしました。このことについてお伺いします。

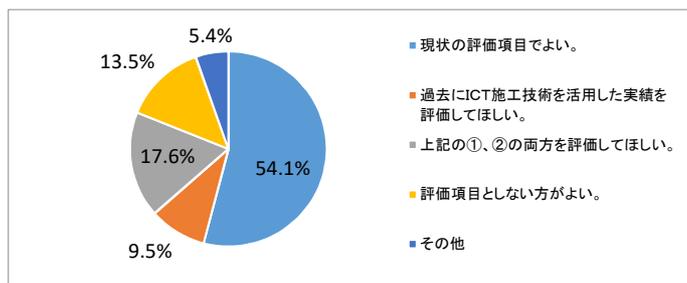
	回答	割合
現状の評価項目でよい。	40	54.1%
過去にICT施工技術を活用した実績を評価してほしい。	7	9.5%
上記の①、②の両方を評価してほしい。	13	17.6%
評価項目としない方がよい。	10	13.5%
その他	4	5.4%
合計	74	100.0%

【その他回答】

ICT活用に意欲的に取り組んでいる企業の評価を高めてほしい

ICT活用を過去に実施した企業にも半分加点するなどの評価をすればもっと普及が早まる

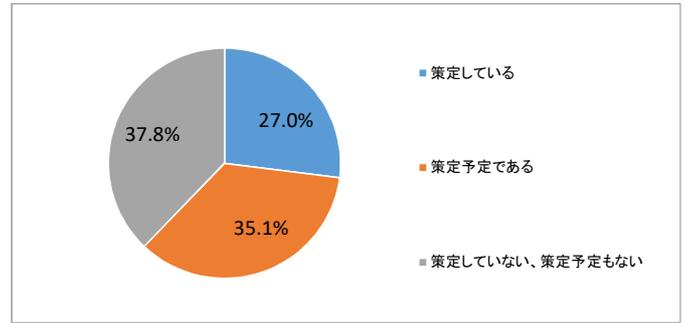
評価項目の中にICT機能を持った重機を自社保有している場合も同等に評価対象とする等があってもよい



災害時の事業継続について

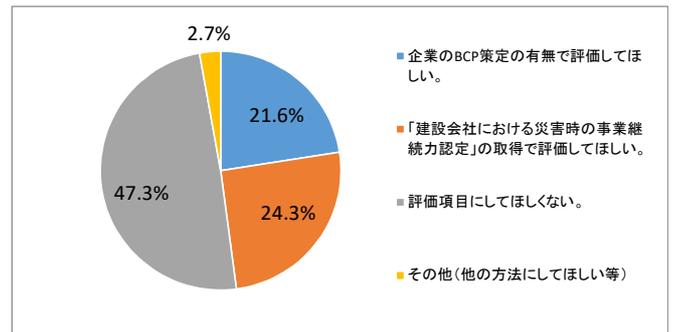
設問49 災害時の事業継続について、貴社のBCP策定状況を伺います。

	回答	割合
策定している	20	27.0%
策定予定である	26	35.1%
策定していない、策定予定もない	28	37.8%
合計	74	100.0%



設問50 評価をするとしたら、BCP策定の有無、関東地方整備局が認定する「建設会社における災害時の事業継続力認定」の取得等、複数の方法を想定しています。このことについて、お伺いします。

	回答	割合
企業のBCP策定の有無で評価してほしい。	16	21.6%
「建設会社における災害時の事業継続力認定」の取得で評価してほしい。	18	24.3%
評価項目にしてほしくない。	35	47.3%
その他(他の方法にしてほしい等)	2	2.7%
合計	69	93.2%



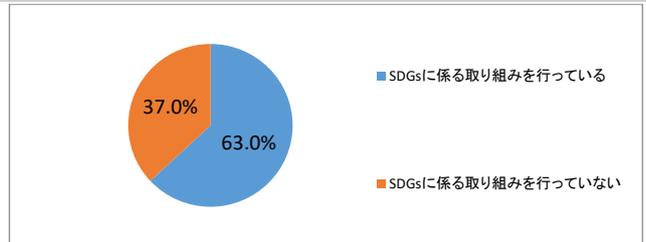
【その他回答】

中小企業にこれ以上、余計な負担を増やさないで欲しい

持続可能な開発目標(SDGs)の取組について

設問51 持続可能な開発目標(SDGs)の取組について、貴社の状況を伺います。

	回答	割合
SDGsに係る取り組みを行っている	46	63.0%
SDGsに係る取り組みを行っていない	27	37.0%
合計	73	100.0%



【その他回答】

埼玉県SDGsパートナーに登録 ⑦

社会貢献活動、ボランティア ⑥

リサイクル ⑥

環境学習 ④

エコカーに乗り替え ③

有給休暇取得率の向上 ②

多様な働き方の推進 ②

コピー用紙の削減 ②

節電、雇用拡大

災害応急対応件数向上、女性管理職割合の向上

衛生設備等の改修工事の取り組み

省エネPC使用率100%を維持

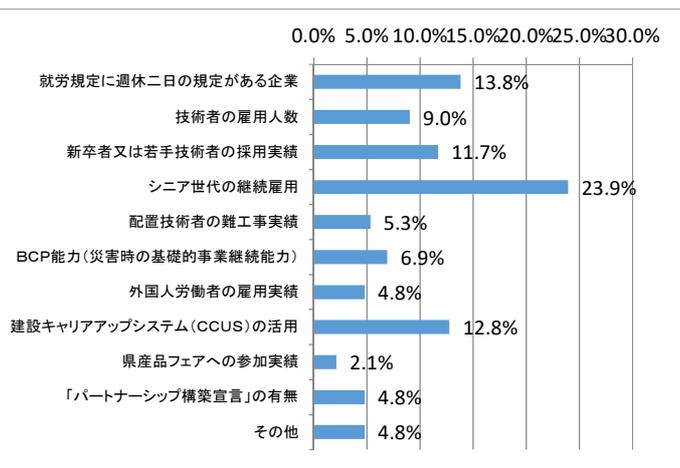
長時間残業をなくすため、勤怠管理アプリを導入して管理

電気・ガス使用量の削減

新規に評価した方がよい項目

設問52 総合評価で加点した方がよい評価項目がありますか。【複数回答可】

	回答	割合
就労規定に週休二日の規定がある企業	26	13.8%
技術者の雇用人数	17	9.0%
新卒者又は若手技術者の採用実績	22	11.7%
シニア世代の継続雇用	45	23.9%
配置技術者の難工事実績	10	5.3%
BCP能力(災害時の基礎的事業継続能力)	13	6.9%
外国人労働者の雇用実績	9	4.8%
建設キャリアアップシステム(CCUS)の活用	24	12.8%
県産品フェアへの参加実績	4	2.1%
「パートナーシップ構築宣言」の有無	9	4.8%
その他	9	4.8%
合計	188	100.0%



【その他回答】

協会、団体等への加入

ICT重機の保有

技能講習修了証の保有数

道路交通法に定められた安全運転管理者制度を遵守しているか

県の週休2日制モデル工事を実施したことがあるか

評価項目としないほうがよい項目

設問53 総合評価で加点項目としない方がよい評価項目はありますか。(自由記述)

新製品、新技術の活用 ④

障害者雇用 ③

手持ち工事量 ②

インターンシップ ②

災害復旧工事の実績の有無 ②

難工事実績

県内下請け

BCPなど取得や維持に多大な労力や時間を要するものは評価項目としない方がよい

登録基幹技能者

継続教育(CPD)

地理的条件(特定の市に大型工事が多いため)

建設キャリアアップシステム(CCUS)

そもそも総合評価をしない方がよい

総合評価に関する情報発信

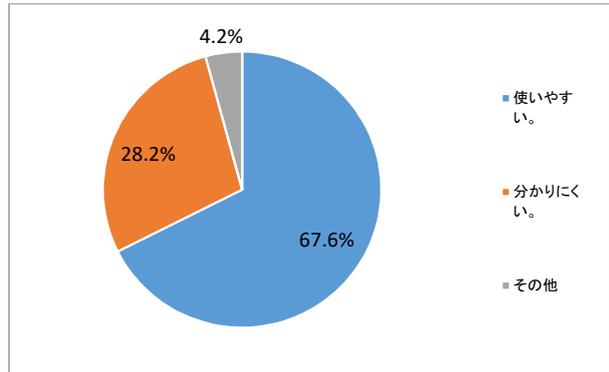
総合評価方式の入札参加者向けに、埼玉県建設管理課及び総合技術センターのホームページに総合評価方式のコーナーを設け情報発信をしています。このことについてお伺いします。

設問54 「埼玉県総合評価方式活用ガイドライン」と「ガイドライン参考資料」の基準関係は建設管理課のホームページで、「技術資料作成の手引き」、様式など申請関係は総合技術センターのホームページで公開していることについてお伺いします。

	回答	割合
使いやすい。	48	67.6%
分かりにくい。	20	28.2%
その他	3	4.2%
合計	71	100.0%

【その他回答】

分からない

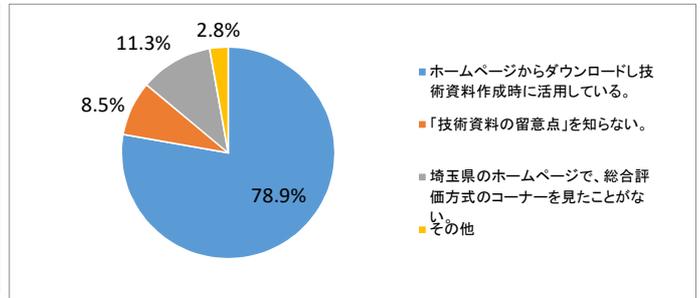


設問55 「埼玉県総合評価方式活用ガイドライン」および「技術資料作成の手引き」について留意点を記載した「技術資料の留意点」を活用していますか。

	回答	割合
ホームページからダウンロードし技術資料作成時に活用している。	56	78.9%
「技術資料の留意点」を知らない。	6	8.5%
埼玉県のホームページで、総合評価方式のコーナーを見たことがない。	8	11.3%
その他	2	2.8%
合計	72	101.4%

【その他回答】

事例が少ないので機会がない。



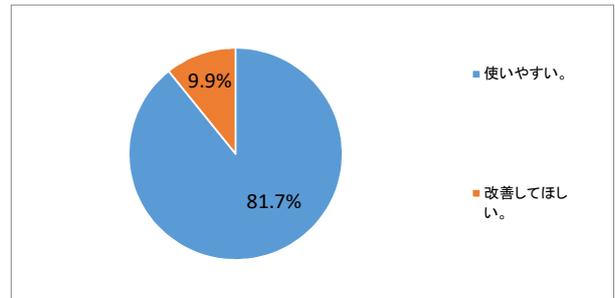
設問56 技術資料作成の手引きについて、お伺いします。

	回答	割合
使いやすい。	58	81.7%
改善してほしい。	7	9.9%
合計	65	91.5%

【改善項目】

分からない

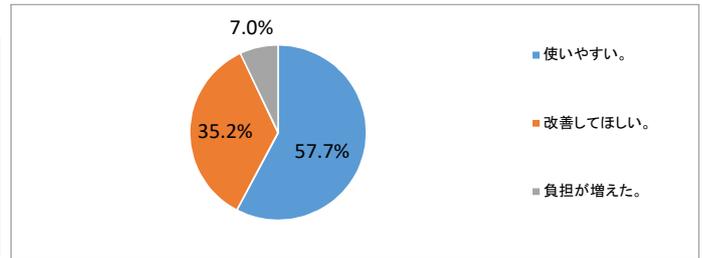
事例が少ないので機会がない。



その他

設問57 昨年度(ver.16)より受注者の負担軽減を目的として、技術資料の電子提出を原則とすることとしました。このことについてお伺いします。技術資料の電子提出により、貴社の事務手続きはどうなりましたか。

	回答	割合
使いやすい。	41	57.7%
改善してほしい。	25	35.2%
負担が増えた。	5	7.0%
合計	71	100.0%



【負担が増えた内容】

分からない

技術資料において、電子提出したことがない

メール提出になると良い

書式に指定のタイトルを付けなおしたりが大変

官庁と違いまだすべて電子化されていない

二度手間感が拭えない

設問58 総合評価方式に関する御意見を自由に記述してください。

総合評価方式の本数を増やしてほしい ③

大手有利の状況がかわらない

表彰を受ける会社が大手のみに限られている

表彰の有無で差がつく現状

緊急対応・苦情対応が求められる県道の緑地帯管理のような単価契約の業務委託にも地域性を考慮した適用をお願いしたい

総合評価方式自体にあまり平等性を感じない

コロナ前のように生の業者の意見が話せる環境が望ましい

新規応札者でも応札できる様な総合評価もつくってほしい

入札課で発注する大型物件は、開札から落札者決定までに数ヶ月かかることもあり、落札決定までの期間をもっと早めてほしい

日々努力が報われる制度にしてほしい

システム上で技術資料を提出できるようになると、更に事務手続きが軽減される

技術提案型の件数を増やしてほしい

添付書類に不備があった場合、確認のチャンスがほしい

技術者の施工実績について、15年以上としてほしい。技術・工法の時間経過による心配については監理技術者講習で補える

「障害者雇用」に関しては雇用人数が多い業者が有利。この項目で配点に差が出る事は残念

ISO14001、埼玉県エコアップ認定制度の配点に差をつけても良い。より高度な国際規格ISO14001を取得した業者には何もメリットが無いのは残念

「重機保有状況」については、評価して頂けるのは大変ありがたい

「建設資材県産品の選定」は、総合評価の評価項目ではなく検査時の努力目標(工事成績評定に反映)で良い

総合評価は大変有意義な制度である

実績が少なくても受注できるようなシステムを希望

難工事完了実績の配点を3点より下げてほしい。また対象期間を複数年にしてほしい。

総合評価方式の採用は@A参加の工事には適用しないでもらいたい

電子での提出は作業が捗るので良い

総合評価を止めてほしい

「ただ安ければ良い」というのではなく、「品質確保」「ダンピング防止」の観点からは、機能している